

Ⅲ 企画展要項

企画展名 開館 25 周年記念企画展

「かごしま近代文学館 偏愛コレクション&現代作家が紡ぐ鹿児島物語展」

趣 旨 かごしま近代文学館は、2023（令和 5）年 1 月 29 日で開館 25 周年を迎えます。そこで、当館がこれまで収集した資料の中から、鹿児島ゆかりの作家たちが偏愛してやまなかったモノ、コト、ヒト、場所にまつわる資料を蔵出し展示いたします。作家が何に執心し、偏愛していたのかを深掘りすることによって、隠された作家像をあぶり出します。

あわせて、当館が開館した 1998（平成 10）年以降に、鹿児島を舞台に、あるいはインスパイアされて描かれた現代小説を、舞台となった地の写真パネルと共に紹介いたします。鹿児島の自然、歴史、風土、人が現代作家たちの目にはどのように映り、作品に投影されたのか。数々の作品とともに、作家たちにインスピレーションを与えた鹿児島の情景をお楽しみください。

会 期 2023（令和 5）年 1 月 25 日（水）～5 月 22 日（月）

休館日 火曜日（3/21（火）は開館、3/22（水）は休館）

開館時間 9 時 30 分～18 時（入館は 17 時 30 分まで）

会 場 かごしま近代文学館常設展示室 2 階

観覧料 大人 300 円（240 円）、小・中学生 150 円（120 円）

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※常設展示もご覧になれます。年間パスポートもご利用になれます。

展示構成（案）（1）偏愛コレクション

- ① モノ（海音寺潮五郎 刀剣、椋嶋十 アートコレクション、萬造寺斎 洋書コレクション、森園天涙蔵書コレクション）
- ② コト（林芙美子 料理、梅崎春生 将棋・囲碁、向田邦子 書、黒田三郎 映画）
- ③ 場所（海音寺潮五郎 朱鳥艸舎、島尾敏雄 ポーランド、吉井勇 京都、藤後左右 志布志湾）
- ④ ヒト（椋嶋十 ロード・ダンサーニ、島尾敏雄 つげ義春、里見弴 バーナード・リーチ、昇曙夢 息子）

（2）現代作家が紡ぐ鹿児島物語

- ① 恩田 陸「黒と茶の幻想」
- ② 金城一紀「花」
- ③ 絲山秋子「逃亡くそたわけ」
- ④ 日和聡子「火の旅」

- ⑤ 梨木香歩「海うそ」
- ⑥ 窪 美澄「晴天の迷いクジラ」
- ⑦ 角田光代「その、すこやかならざるときも」
- ⑧ 中脇初枝「神に守られた島」「神の島のこどもたち」

主な展示資料 海音寺潮五郎 旧蔵の刀剣、椋鳩十 旧蔵の絵画・彫刻、林芙美子 旧蔵の器、黒田三郎 旧蔵の映画パンフレット、島尾敏雄 ポーランド土産のウオッカ、吉井勇 自筆短冊、里見弴 自筆原稿、ほか（予定）

問合せ かがしま近代文学館

〒892-0853 鹿児島市城山町5-1

Tel 099-226-7771 Mail kinmeru@k-kb.or.jp（代表）

担当：吉村